

学部長からのメッセージ

工学部長 天野 良彦

長引くコロナ禍のもとでの前期授業および定期試験が無事終了致しました。昨年度の緊急的なオンライン授業の経験を踏まえ、今年は感染対策を十分に行いながらも、覚悟して対面授業をメインに行うことでスタートしました。結果としては、学部の学生や教職員を含めてほとんど感染することなく、通常通りの業務や授業が行えたことは奇跡に近いと思っています。これも、昨年の経験を活かした徹底したリスク回避の対策や、構成員の自覚ある行動のお陰と思っています。皆様には様々な不自由を強いる日々ではありましたが、対面の授業や学生同士のコミュニケーションは、オンラインでは得られない貴重な体験を生んでいると考えられます。また、精神面においても昨年に比べて格段に安定してきていると思っています。今後も、皆様のご協力をお願い致します。

さてここまでは順調に運営されてきていますが、この夏休みから後期が始まるまでにかけてが、今後の一つの山と考えられます。オリンピックが無事終了した安堵感と気の緩み、そして感染力の非常に強いデルタ株の存在が、後期の授業や研究活動に暗い影を落としています。そこで皆様には、以下の2点についてお願いしたいと考えています。まず一点は、この休み期間中には引き続き注意深い行動を取るようお願いしたいということです。これまでの、飲食を控えれば感染が押さえられる状況から、感染経路が不明な感染例が増えてきています。ウィルスはすぐ身近にいることを十分に認識して行動をして頂きたいと思います。引き続き、①三密を避ける、②マスクを正しく着用する、③石鹸による手洗いまたはアルコールによる手指消毒の徹底をお願いします。もう一点はワクチンの接種です。自分の身を守るだけでなく、自分が感染源となってウィルスを拡散させないためにも、ワクチンはかなりの効果があることが科学的に証明されています。ワクチンの接種率を上げることにより、集団的な免疫が獲得できることとなりますので、ぜひワクチン接種をお考えくださいようお願い致します。後期も対面授業が継続できる様、教職員もなお一層の努力をいたしますので、学生の皆さんにもご協力お願いいたします。後期の開始時には皆が元気に登校し、活気溢れるキャンパスに戻ることを期待しております。